

# RESPONSE RING

SPORT LINE

この度は弊社製品<RESPONSE RING>をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。本製品はインテーク部分に装着し、吸気流速の向上によりエンジンレスポンスを高める目的に制作された製品です。\*レスポンスリングは文中では<リング>と略して記載されています。

本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなってください。

**お願い!** 本製品は性能向上、適合追加他の理由により、頻繁に取り扱い説明書の変更をおこなっております。お手元の取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合はご面倒でも当社ホームページ上の取り扱い説明書を参考に取り付け、調整をおこなってください。

**警告** 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなってください。必ず専門の業者に依頼して下さい。
- 作業はエンジンが十分に冷えた状態にて行って下さい。エンジンが高温の状態にて作業した場合、やけど等の危険があります。
- 取り付け後、エンジン不調等の障害が発生した時は、ただちに使用を止めて下さい。

**注意** 負傷または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- ネジの締め忘れ、ダクトの都合の不具合がある場合は、エンジンが不調をきたす可能性があります。慎重に作業をおこなってください。
- ダクト内にネジ、ゴミ等が落下してしまった場合、エンジン破損の可能性があります。慎重に作業をおこなってください。
- 製品を加工もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。

**注意** ●リングの数力所にアルマイト加工時の塗りむらがありますがキズ等ではございません。ご了承下さい。

**【取り付け方法】**

- 作業はエアフローメーターのコネクターを抜く場合があります。エンジンを停止させ10分以上経過してから作業を開始させて下さい。
- \* エンジン停止直後にカバーを抜いた場合、エンジンチェックが点灯してしまう場合がある為

**200系ハイエースガソリン車**



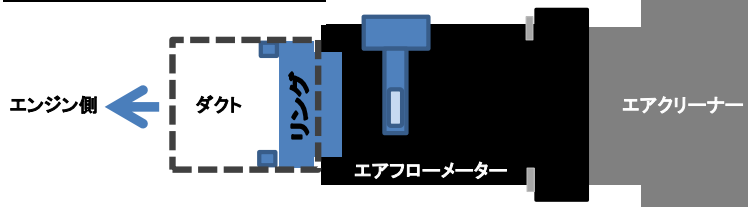
- 取り付け断面図です。作業の参考にして下さい。
- リングの径の小さい側が、スロットルボディ側に接続されます。
- ピックスロットル装着車は取り付け口径が違う為、特注品を指定して下さい。  
\* 標準品は取り付け出来ません。

**<作業手順>**

- ① 取り付け場所はエンジンルーム内になります。助手席シートをあげ作業をおこなってください。
- ② ダクトを固定しているネジ2箇所(10mm)をはずし、スロットルボディのバンドを固定しているネジ(10mm)1か所を緩めて下さい。
- ③ ダクトを浮かせ、リングをセットして下さい。
- ④ 取り外した手順と逆の手順にてダクトを取り付けて下さい。



**NV350キャラバンガソリン車**



- 取り付け断面図です。作業の参考にして下さい。
- 必ずエンジン側のエアフローメーターBOXへリングを装着して下さい。

**<作業手順>**



- ① 運転席シート下、後方部カバーを外して下さい。
- ② エンジン側のダクトのバンドを緩め、ダクトを横にずらして下さい。
- ③ リングをエアフローメーターBOXのエンジン側へ装着して下さい。  
\* リングの段付き部分をエアフローメーターBOXへ差し込む要領にて装着して下さい。
- ④ ダクトを元に戻し、バンドを締めつけて下さい。

## 【オプションリング・アシストリングについて】

**<オプションリング>** 別売のオプションリングを選択することにより、ある程度のトルク特性を変更することが可能です。走行条件、好みにより最適なリングを選択し、走行をお楽しみ下さい。(適合表のオプションリング→特性の欄にて選択できるリングを選んで下さい)

**<アシストリング>** 標準リングとは別の場所に装着して、レスポンスリングの性能を全域で高めるリングです。特に加速時のスムーズさが増大します。取り付け位置は標準リングの装着位置により異なります。

## 【MINICON、MINICON PROの同時使用について】

●MINICON、MINICON PROとの同時使用はレスポンスリングの性能をさらに引き出します。是非使用されることを推奨致します。

## 【使用上の注意点】



●エンジンを始動させ、異音、不調等が発生した場合はすぐにエンジンを停止させて原因を解決してからリングを使用して下さい。

## 【類似品について】



●本製品の制作にあたっては特許出願をおこなっています。特許に抵触する類似品等の使用は絶対に避けて下さい。  
違反品を装着使用された場合、お客様にご迷惑をかける場合が考えられます。

## 【トラブルチェック】

**<リングとスロットルボディの勤合が緩いもしくは装着できない>**

●ピックスロットルに変更されていませんか？スロットルボディが変更されている場合は標準タイプのリングは適合出来ません(200系ハイエース)

**<リング装着による変化が感じられない>**

●車両がECOモードになっていると、レスポンスリングの効果が感じにくい場合があります。スポーツモードでの使用をお勧め致します。  
●数々のテストでは、アクセル開度約20~40%の一定走行時にノーマル状態より大きく効果が感じられるポイントがありました。走行しながら、変化の大きいポイントを確認してみてください。

**<アイドリング不調><吹け上がらない>**

●エアフローメーターのカプラーが確実に挿入されているか？確認して下さい  
●ダクトが確実に挿入されているか？エア漏れがないか？確認して下さい。

**<高回転がノーマルより伸びない>**

●本来レスポンスリングは低中回転域のエンジンレスポンスを向上させる目的で開発されました。高回転域を多用する状況(サーキット走行他)では一旦リングをはずすことをお勧め致します。

**<エンジンチェックが点灯した場合>**

●エアクリナーが詰まっている場合、O2センサーが異常と判断しエンジンチェックを点灯させる場合があります。エアクリナー周りの清掃及びエアクリナーの新品交換をおこなして下さい。  
●ノーマル状態にて、(走行-エンジン停止)の正常な状態を3回以上繰り返すとエンジンチェックは消灯する場合があります。もしくはカーディーラー等専用機器のある工場にてエンジンチェックランプを消してもらって下さい。